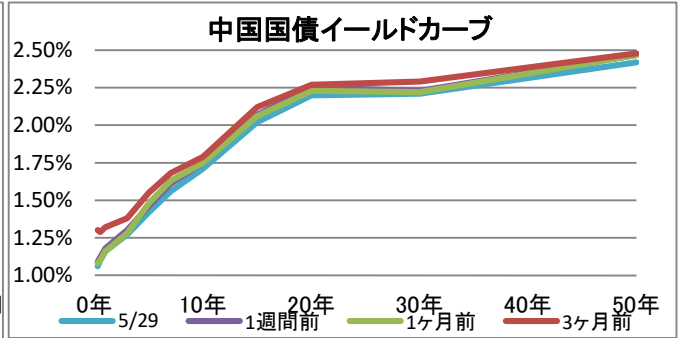
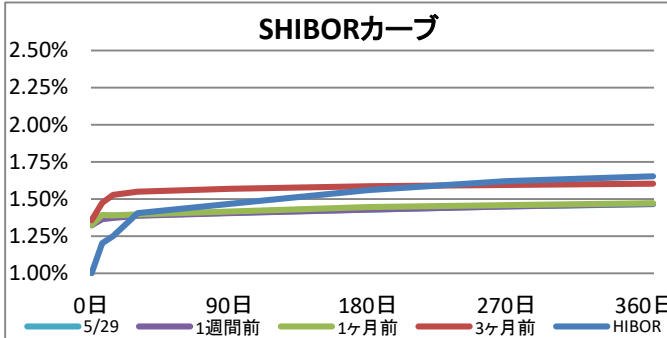


1.市場概況

基準レート		2026/5/29	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8176	-0.0197
	JPY/CNY	4.2718	-0.0215
SHIBOR	3M	1.4075%	+0.0025%
国債利回り	10年	1.71%	-0.04%
上海総合指数		4,068.57	-44.33



(1) 概況

国際金融市場は、中東和平実現とホルムズ海峡再開への楽観的な見方から原油価格の下落が続き、債券市場が買戻し等からさらに上昇（利回りは低下）を続けたことから、AI等のハイテク銘柄を中心に株式市場も高値更新を続け、外為市場では有事のドル買いの巻き戻しからドルが弱含み、金は金利低下を好感して下値を固め、ビットコインは下落が続く展開。

中国金融市場では、国際的には金融市場が回復傾向となる中で、内需や国内資金需要の弱さをから、株式市場は上値重く下落となり、債券市場は底堅い（利回りは低下基調）状況に変化なく、外為市場では世界的なドル安傾向を映じて、人民元が週初の1ドル=6.78台から6.76台に緩やかに低下する展開となった。

中国では、習主席が、訪中したパキスタン総理との会談で、同国による中東和平回復に向けた仲介を評価し、李強総理は、中国沿岸都市の石油・穀物備蓄施設を視察し備蓄拡大の必要性を強調し、何立峰副総理は、APEC貿易担当大臣会合で新興分野に関する対話強化、WTO改革支援、地域経済一体化の推進等の方針を示し、王毅外交部長は、国連で「国連憲章維持、国連中心の国際体制強化」と題する会合を主宰し、各国へ団結を呼び掛け、國務院は、「都市更新に関する第15次5か年計画」を公表。国家発展改革委員会は、記者会見で中国ハイテク企業に対する外資受け入れ拒否を求めたことを否定し、商務部報道官は、米中貿易交渉に関して、二国間関税の取り決めや300億ドル以上の製品に対する対等な関税引き下げの枠組み協議に合意したと言及。なお、中国政府は、国家金融監督管理総局のトップに丁向群（中国人民保険・董事長）を任命。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,045億元、MLF期日5,000億元に対して、リバースオペ9,089億元、MLF6,000億元を実施し、7,044億元を供給。

(3) 主な経済指標

・工業部門利益（1-4月）は、前年比+18.2%（1-3月、同+15.5%）、4月単月も同+24.7%（3月、同+15.8%）と伸びを高めた。世界的な投資急増や政策支援を受ける半導体関連等のハイテク製造業が大幅増を継続したほか、中東情勢を受けて資源・原材料関係が増産や製品価格上昇から大幅に増加し、全体を押し上げた。但し、自動車は補助金打ち切りにより2桁の前年割れが続いたほか、内需低迷を反映し、家具や酒・飲料、農産物加工食品等は大幅な減益を継続。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3240%	1.4000%	1.3754%	
1W	1.3870%	1.5000%	1.4039%	1.2800%
2W	1.3870%	1.3800%	1.4005%	1.2800%
1M	1.3900%	1.9500%	1.3737%	1.2800%
3M	1.4075%	1.4000%		1.3500%
6M	1.4290%			1.3900%
9M	1.4500%			1.4200%
12M	1.4655%	2.0000%		1.4400%

中国人民銀行は、月末に向けてタイト化する市場に対し、短期の資金供給に加えて、MLFを増額する対応としたことから、金利水準は概ね落ち着いており、月内物は概ね1.3%台で取引され、ターム物も1カ月が1.4%前後で出合っている。

NCD市場の金利水準は、月末週で足元資金需給はややタイトとなる中にも関わらず、既に低位にある金利水準が一段と低下する展開となり、ターム物の金利水準は1カ月が1.2%台後半、3カ月が1.3%台半ば、6カ月は1.3%台後半、1年も1.4%台前半に小幅ながら低下している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.75%	3.80%
1W	3.75%	3.78%
1M	3.80%	3.85%
3M	3.85%	3.90%
6M	3.85%	3.95%
12M	3.90%	4.00%

中国国内市場では、利上げ懸念から出し手が限定的となり、出会いのないまま気配が上昇する状況が続き、ターム物の出会いは限定的で、1カ月が3.7%台後半で出合っている。

### 3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.06%		1.37%	1.43%	1.47%
6M	1.10%		1.39%	1.43%	1.48%
1Y	1.16%	1.25%	1.43%	1.47%	1.53%
3Y	1.27%	1.36%	1.48%	1.64%	1.80%
5Y	1.42%	1.48%	1.58%	1.77%	2.05%
10Y	1.71%	1.84%	2.01%	2.10%	2.54%

米国債券市場は、インフレ率の高まりや堅調な経済から金融引き締め懸念が高まる中、中東での停戦合意とホルムズ海峡再開による原油価格低下への期待の高まりから、続伸（利回りは低下）する展開となり、株式市場の高値更新もサポート。

中国債券市場では、短期の資金需給がややタイトとなり、先月に続いて銀行への当局からの融資拡大指示に関する報道もあったものの、世界的に債券利回りが低下に転じたことも手伝って、資金流入が続いており、利回りは一段と低下。イーロードカーブは、利回り低下余地の残る中長期や信用債を中心に全体的に小幅ながら下方へのシフトが続いたことから、フラットニングし、クレジットスプレッドも長期を中心に縮小傾向を維持。

この結果、10年米国国債利回りは4.44%（前週末比-12bp）に、10年中国国債利回りも1.71%（同-4bp）に一段と低下したことから、利回り差は273bp（同-8bp）に縮小している。

### 4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-145.0 / -143.0
3M	-440.0 / -438.0
6M	-872.0 / -870.0
9M	-1,290.0 / -1,288.0
12M	-1,720.0 / -1,715.0

対ドル基準レートは6.8176と前週末比-197pipsのドル安元高、対円基準レートは4.2718と同-215pipsの円安元高と、対ドル基準レートは、実勢比では大幅な元安水準ながら、2023年2月以来の元高水準での元高方向での設定が続いている。

中国国内市場では、中東情勢安定化への期待が振れを伴いつつ高まりドル安傾向となる中、工業部門企業利益の高伸や証監会による違法な海外証券投資への取締り実施等も影響し、週初の1ドル=6.78元台から6.76元台まで元高が進行し、3年振りの高値を更新。

先物は、値ごろ感からの先物のドル買いもあってか、ドル金利の上昇により金利差は拡大傾向となる中で、ディスカウント幅は小幅ながら縮小しており、1年物では-1,700近辺での小幅な値動きに終始。

### 5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.40%		1.40%
6M	1.41%	1.42%	1.40%
9M	1.41%	1.43%	1.40%
1Y	1.42%	1.44%	1.40%
3Y	1.47%	1.50%	1.40%
5Y	1.53%	1.58%	
7Y	1.59%	1.66%	
10Y	1.67%	1.75%	

金利スワップ市場は、債券利回りが一段と低下したことから、前週の下げ渋りから低下に転じており、スワップスプレッドは小幅ながら縮小。

### 6.その他（週末に公表された経済指標等）

- ・李強総理は、国家労働安全ビデオ会議において、習主席の生産安全に関する重要な指示の実施と人命第一の原則を堅持し、3年間の基本労働安全の徹底キャンペーンの推進等について指示。
- ・国家統計局PMI（5月）は、製造業が50.0%（4月、50.3%）と、生産は3カ月連続で拡大を維持したものの、外需関連の輸出や輸出受注が再度50を下回り、非製造業は50.1%（同、49.4%）と、連休要因や価格上昇を主因に50を回復したものの、いずれも雇用状況は50を下回ったまま。総合では50.5%（4月、50.1%）と、3カ月連続で50を上回った。
- ・トランプ大統領は、合意が期待されたイランとの戦闘終結に関する覚書案の文言強化を指示し、イランは反発しているとの報道。トランプ大統領はインタビューで合意を急ぐことはない、ともコメントしている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入